



### 工場見学

11月6日(月)、5年生は社会科見学の日。バスに乗って、日産自動車横浜工場(横浜市)と雪印メグミルク海老名工場(海老名市)を訪問しました。

日産自動車横浜工場はエンジンと電気自動車のモーターを製造しているとのことで、エンジンがロボットや人の手で作られていく様子を見学しました。子どもたちは工場らしい匂いを感じたり、エンジンが次々と作られる様子を見たりすることができました。

雪印メグミルク海老名工場では牧場から運ばれてきた生乳が、清浄、均質化、殺菌などの工程を経て牛乳として出荷される過程を見ることができました。子どもたちは一昨年、東京農業大学富士農場で乳牛を見てしぼりたて乳を味わっています。工場では「生乳」と「牛乳」の違い等についても詳しい説明があり、富士農場の学習と繋げることができました。この経験と工場見学とで、毎日の飲む牛乳ができるまでがよく理解できた様子でした。

5年生の子どもたちは社会科の授業で日本の工業について学んでいます。自動車と食品という異なる工場を見学できたことで、身近な工業製品への関心や学びが深まったことでしょう。工場の皆様には親切にご案内いただき、質問にもお答えいただきましたことに御礼申し上げます。

### 合格発表

11月7日(火)には、2024年度入学試験の合格発表(オンライン)が行われました。合格者の手続きも順調に進んでいます。ご縁の有無にかかわらず、本校に関心をお持ちいただき受験して下さった志願者と保護者の皆様に感謝申し上げます。

### かわいい園児の皆さんを迎えました

11月9日(木)、國學院大学付属幼稚園の園児の皆さん26名が担任の先生方、森野ゆかり園長、そして学校法人國學院大学から尾近裕幸理事と田中太財務部長とともに、本校を訪問されました。

学校法人國學院大学と学校法人東京農業大学は2023年3月に包括連携協定を締結し、それぞれの法人にある付属学校の連携推進に期待がかかっています。今回の園児の皆さんの訪問は本校とのはじめての幼小連携事業となるものです。幼小連携事業は単なる交流ではなく、交流を通して幼稚園の子どもたちが小学校を知ることにより、円滑に小学校生活を送れるようにするのが目的とされています。

園児の皆さんは、一人ずつ本校1年生児童2~3名と一緒に一つのグループとなり、自己紹介をしたあと、グラウンドでかけっこをしたり、自由遊びをしたりして楽しんだ後、教室に移動し、今度は小学生になったつもりで椅子に座り、鉛筆の持ち方や運筆などを1年生に教えてもらいました。園児の皆さんが明るくしっかりとしていることにとっても感心しましたが、本校1年生の子どもたちもお兄さん、お姉さんぶりを発揮し、やさしく園児の皆さんに接している姿はうれしいもので

した。

教室での「お勉強」の後、1年生からは「Let's spin」と「Alphabet song」のダンスや歌を披露し、園児の皆さんからは振り付けもかわいらしい「にじ」の披露がありました。

最後に、1年生の子どもたちと園児の全員に、國學院大學の尾近理事から、國學院大學のキャラクターで古事記の「因幡の白兔」の白いウサギをモチーフにした「こくびょん」と大学屋上での養に因んだ「エコ Bee」がラベルになったペットボトルウォーターをプレゼントしていただきました。園児の皆さんは1年生が作ったメダルを首にかけ、園児の皆さんが元気に活動したことを表彰する「ひょうしょうじょう」を持って、東京農業大学「食と農」の博物館を訪問の後、無事に幼稚園に戻られました。子どもたちの心に、楽しい思い出ができたことを願っています。



学校法人國學院大學：<https://all-kokugakuin.jp/>

國學院大學附属幼稚園：<https://kokugakuinfuzoku.com/>

## 北海道オホーツクキャンパスでも初雪

11月から農大稲花小では「学校生活のしおり」でもお知らせしている通り、冬制服の着用となり、入学試験による休校が終わった11月6日(月)には、子どもたちがそろって冬制服で登校しました。本校のテラスの稲では収穫後のひこばえが出穂したり、アサガオがまだ花を咲かせ続けるなど、異常気象の影響が感じられますが、季節は進んでいます。11月10日(金)から11日(金)未明にかけては北海道オホーツクキャンパスの位置する網走市でも初雪が観測されたそうです。5年生が訪問したキャンパスや農地も雪で白くなったことでしょう。

北海道オホーツクキャンパス：<https://www.nodai.ac.jp/academics/bio/>

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子